

春のこの時期は、出会いに胸ときめかせ、また心配も半分といった感じでしょうか。あるいは、思ったように過ごせず、どちらかと言えば、鬱々とした思いをお持ちでしょうか。どちらにしても、今のご自分を大切にされて、日々、前向いて生きられること、お勧めいたします。

さて、この時期、自己紹介で悩まれる方少なくないのではないのでしょうか。私自身もできることならば、無しで済ませたいと思ったこともございました。そんな悩みの元となる自己紹介、そしてクラスでの発表・プレゼンですが、如何に考え、準備すればいいか？また自身のどもることをどのように話せば良いのか？を、一緒に考えてみたいと思います。吃音セルフヘルプグループの [大阪吃音教室 動画 \(osaka-kitsuon.com\)](http://osaka-kitsuon.com) 等も紹介し、スタッフが丁寧に、自身の体験等も添えて、補足説明しつつ進めたいと思います。

親子初参加で、親子一緒に参加を望まれる場合、どうぞ一つのパソコンで一緒に参加ください。が、もしパソコン、タブレット、スマホ等二つあれば、話し合い(相談会)のセッションからは、BREAK ROOM で別々の部屋に分かれますので、別端末での参加をお勧めします。ご両親の方々も進んでご参加ください。基本、カメラオン・マイクオンの参加をお願いします。

つどい代表 佐藤 隆治

- 日時 2022年6月26日(日) 13:00~16:30
- 対象 吃音(ことばがどもること)の小・中・高校生及びそのご家族  
ことばの教室の先生、言語聴覚士(大学や専門学校所属の学生可)



## ■ 内容

- ・エンカウンターゲーム。自己紹介する際の準備や心構え 動画勉強(13:00~14:10)
- ・学年別の吃音についての話し合い(相談会)と体験談紹介(14:20~16:00)
- ・一人一言 振り返り(16:00~16:30)

## ■ 参加費 無料

- 申込み オンライン(ZOOM)に使用するパソコン・iPad・スマホ等のアドレス、氏名(漢字、ふりがな)、学年、電話番号、当日相談したい内容について、申込み時に、必ずご連絡をお願いします。

中学生以上の方は、親子別々のアドレスからの参加をお勧めします。

6月12日(日) pm. 4~5の間、ZOOM 接続確認テストも行います(接続方法は個別連絡)。



6月19日(日)までに、以下のいずれかの方法をお願いします。

### ① GoogleForm

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScoE00BN9TYGWrLX4i7EPpfzmi\\_tT7mTmt6tmT94xeduH00dw/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScoE00BN9TYGWrLX4i7EPpfzmi_tT7mTmt6tmT94xeduH00dw/viewform)

### ② つどい共通アドレス [tsudoiki@kitsuon-tsukiau.org](mailto:tsudoiki@kitsuon-tsukiau.org)

### ③ 東京都三鷹市立南浦小学校 きこえとことばの教室 [omata-mikako@m-schoolnet.jp](mailto:omata-mikako@m-schoolnet.jp)

# リーダースタッフからのメッセージ

## 早船 駿汰 (*Shunta Hayafune*, 川口市立戸塚小ことばの教室卒)

ご無沙汰してます。コロナウイルス流行し、2年が経ち生活は変わりましたか??

私はこのつどいがきっかけで自分の吃音とも向き合うことができました。20歳を超えてからつどいと出会い、それまでは吃音って言葉も知らずにいたので中高生から向き合える皆さんが羨ましくも感じます。それまでは「どもり」に蓋をしていたのですが、どもってもいいんだって思えてからは気持ちが楽になった部分もあります。

日常生活でどもるからと逃げたい気持ちとチャレンジしたい気持ち。そんな想いを共有できるのもこのつどいだと思います。

今回もつどいはオンライン開催となりオンラインで発言しづらいとは思いますが、遠慮せず普段抱えてる「つどい」でしか言えない悩みや相談ができれば最高ですね。同じ想いを抱えた仲間がいると思いますよ！そしていつか直接、表情を見てマスクもせずどもり合える開催が待ち遠しいです！



イラスト 石橋優樹

## Y. G

初参加の方の中には「つどい」ってどういう所だろう、どういう人達がいるのだろうと身構えてしまう方もいるかもしれませんが、なるべく変に気負わず気持ちを楽しにして、とりあえずは同じような悩みを持つ仲間と楽しむことだけを考えても良いのではないかと私は思います。日常生活の中では「どもり」の仲間に出会う機会は無いと思いますが、「つどい」にはたくさんいます。「どもり」が出会わせてくれた仲間と楽しく話をする中で気持ちが少しでも楽になったり、参加して良かったと思っていただけたらと思います。

「立候補 放送委員は ぼくがやる」。私も小学5年生と中学2年生の時に放送委員をやったことを思い出しました。確かにどもりと放送委員は相性が良いとは言えないかもしれませんが、それはやりたいことを諦める理由にはならないし、なってはいけないと思います。どもりでもアナウンサーになった人もいるくらいなのだからどもりだからといってやれない、なれないものはないと言っても良いでしょう。もし何かをどもりを理由に諦めようとしている人がいたらどうか勇気を出して欲しい。どもりに未来を狭められてはいけない。



## 金澤 誠 (*Makoto Kanazawa*, 荒川区立第三峡田小ことばの教室卒)

どもりと向き合う機会も多い季節ですね。その向き合う過程で、悩みや迷いが頭の中でグルグルしてる方も居らっしゃるのではないのでしょうか？では、そのグルグルをどもり仲間達と共有してみましょう！一人でグルグルするより、みんなでグルグル回った方が面白い？そして解決の糸口が見つかるかもしれませんよ。

「一人じゃない 仲間がいるから がんばれる」。自分一人だけがどもりだと思うと、孤独や不安感に苛まれるかもしれませんが、同じ悩みを持つ仲間と語り合い、学び合うことできっと良い変化が訪れると思いますよ！「怖かった どもりの勉強 するまでは」です。

最後に私自身、しんどい時に頼りになった言葉を紹介。「運命とは神様という最高



イラスト 石橋優樹

の名医に処方された薬のようなものであり、たとえそれが苦い薬であっても良い薬です。良薬は口に苦しな

から（「自省録」マルクス・アウレリウス）。 ↑上記太字3つは、日本吃音臨床研究会編どもりカルタより